

重要課題(マテリアリティ)

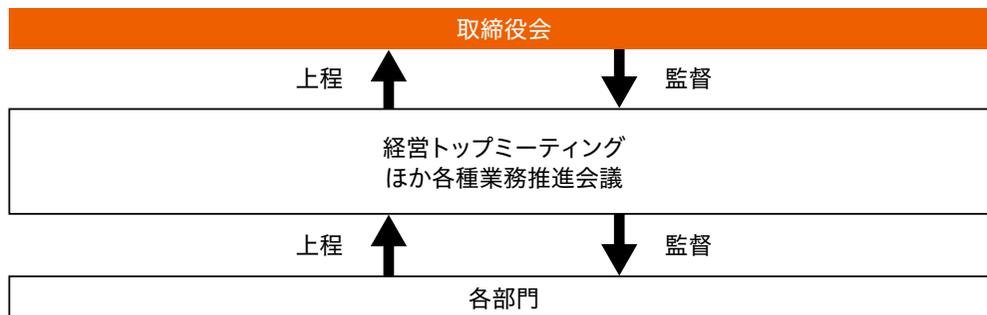
基本的な考え方

当社は経営理念を軸に、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献することが、中長期的な企業価値の向上につながると考えています。その実現に向け、2030年ビジョンでは「事業とモノづくりの変革で収益力を向上させ、ESG経営を実践」を基本方針に掲げました。取り組むべき重要課題を特定し、具体的な目標としてKPIを設定しています。この達成に取り組むことで、2030年ビジョンの実現と社会課題の解決を目指します。

管理体制

当社のサステナビリティ活動は、経営陣によるリーダーシップのもとコーポレート部門による横串機能とカンパニーによる事業軸が一体となって取り組みを推進しています。各種業務推進会議ではKPIの目標達成に向けた実行計画や進捗を管理し、定期的に経営トップミーティング・取締役会に報告しています。経営トップミーティングでは、取り組みの進捗や社会動向、環境変化を踏まえたレビューを定期的に行い、マテリアリティやKPIの見直しと、経営方針/計画/戦略への反映を議論・審議し、重要な事項は取締役会に付議のうえ、決定しています。

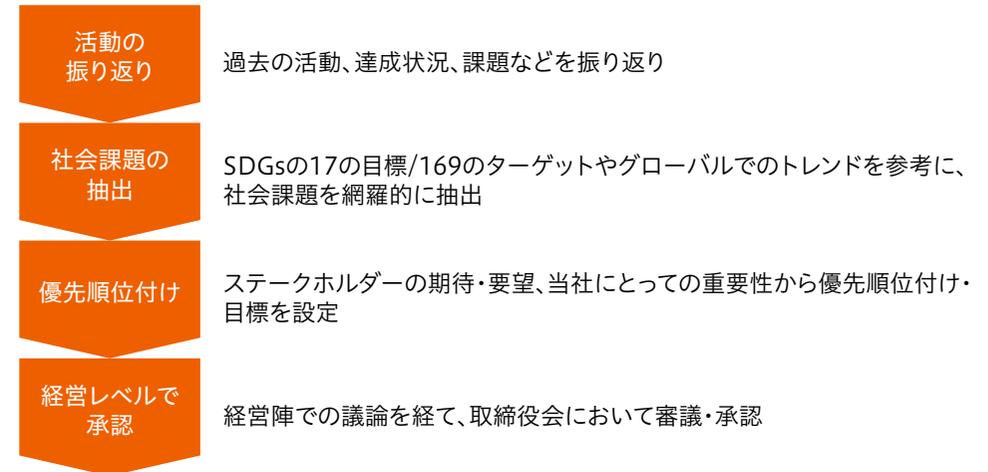
● 管理体制



特定プロセス

マテリアリティの特定にあたっては、これまで当社が実施してきた社会課題に対する活動や実績などの振り返りを行い、SDGsで定められている目標や、グローバルでの新たな課題などを参考に、お客様や株主などを含む多様なステークホルダーの要望、当社への期待などから当社にとって何が重要なのかを社内で検討し、優先順位付けや目標設定を実施しました。

その後、経営陣が議論を行い、取締役会において審議と承認がなされました。サーキュラーなモノづくり・環境・安全・人の観点での重要な指標において、各担当部門におけるKPIの設定と実績管理を通じて、さまざまな取り組みを実施し、社会と当社にとっての重要な課題解決を推進することで、サステナビリティの向上を目指します。



マテリアリティ	KPI(目標)	2024年度実績	主な取り組み	関連するSDGs
気候変動	CO ₂ 排出量削減率 ※ 2013年度比(2026年 35%、2030年 50%)	25.4%	<ul style="list-style-type: none"> ・製造工程の効率化などによる徹底した省エネ活動の推進 ・自社発電を含めた太陽光発電などのクリーンエネルギー活用の推進 ・高効率な電気炉や水素・アンモニアの活用など革新技術の開発 	 
資源循環	副産物埋立量 (2026年 2,400t、2030年 2,000t)	2,430t	<ul style="list-style-type: none"> ・副産物(スラグ、ダスト、スケールなど)のリサイクル推進 	
環境保全	大気汚染物質排出量	NOx121t/年 SOx1.47t/年	<ul style="list-style-type: none"> ・SOx・NOx排出の低水準維持の取り組み推進 	 
	工場排水汚濁負荷量	COD 8.85t/年 窒素 3.76t/年 リン0.35t/年		
調達	グリーン調達ガイドライン周知率(100%)	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・「グリーン調達ガイドライン」に基づく取引先と連携した環境保全活動の推進(環境配慮製品の優先購入など) ・「パートナーシップ構築宣言」に基づく取引先との望ましい取引慣行(振興基準)の遵守 	
	下請法違反件数(0件)	0件		
技術革新	特許出願数(50件/年)	54件	<ul style="list-style-type: none"> ・「事業の変革で豊かな社会を創造」の実現に向け、事業戦略と一体化した研究開発の推進および早期事業化 ・AIなど高度情報技術・解析技術の向上と戦略的特許出願による開発基盤強化 	
サイバーセキュリティ	サイバー攻撃による重大インシデント(0件)	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・トヨタグループ共通の「オールトヨタセキュリティガイドライン(ATSG)」「オールトヨタプラントセキュリティガイドライン(ATPSG)」などに基づいた、社内体制の整備・ルールの周知・教育・点検によるセキュリティ強化 	
品質・生産	客先流出不具合件数(0件)	27件	<ul style="list-style-type: none"> ・IATF16949認証取得を通じた品質マネジメントシステムのさらなる強化 ・クレームの真因追求強化による再発防止策の徹底 ・TPSをベースとした製品をタイムリーに安定供給できる生産基盤の構築 	
	粗鋼生産量	956千t		
	鍛造品生産量	239千t		
	電子部品生産量	48.3百万セット		
安全・健康	重大災害件数(0件)	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性リスク評価に基づく災害を発生させない「場づくり」 ・類似災害の撲滅に向けた再発防止の推進 ・心と体の健康維持・増進に向けた健康経営の推進 	 
	傷病休業日数率(0.25%)	0.81%		
働き方・人材育成	年次有給休暇取得日数(20日)	16.4日	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事とライフイベントを両立できる柔軟な勤務制度の整備 ・多様な従業員がモチベーション高く活躍できる職場環境、人事制度の整備・導入 ・職種別・階層別教育体系に基づくOff-JT教育の充実、経営戦略と連動したスキルアップ・能力開発への投資促進 	
	1人あたりの残業時間[スタッフ系](10時間)	14.3時間		
	1人あたりの教育時間	14.0時間		
多様性	女性管理職数(10名)	6名		
地域共生	ボランティア活動参加率(100%)	80%	<ul style="list-style-type: none"> ・工場緑地の一部である「中新田緑地(約2万m²)」における自然生態系の構築など生物多様性保全・自然共生活動の推進 ・社会貢献活動を通じた地域社会とのコミュニケーション活動 	
人権	職種別研修での人権教育実施率(100%)	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・「愛知製鋼グループ企業行動指針」に則った人権を尊重した事業活動 ・従業員教育を通じた高い倫理観と人権意識の醸成 ・内部通報制度など人権保護体制の整備・強化 	
法令遵守	重大な法令違反(0件)	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・「愛知製鋼グループ企業行動指針」に基づく高い倫理観の共有、研修・講演会などによる意識・知識の向上、違反を発生させない社内体質の継続的な強化 	

※ 2024年度実績は愛知製鋼単独